

第16回 運営推進会議 議事録

令和6年2月28日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」		
開催日時	令和6年2月20日(火)		
開催場所	デイサービスセンターよつ葉		
参加者	利用者 1名 利用者家族 1名 地域住民の代表 1名	知見を有する者 (都合により欠席) 地域包括支援センター 1名 事業所職員 2名	
議題	1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動		
会議録			
1.運営状況			
○介護度の内訳 令和6年1月31日現在 合計22名 要支援1:1名／要支援2:0名 要介護1:6名／要介護2:5名／要介護3:8名／要介護4:2名／要介護5:0名			
2.事故・ヒヤリハット報告			
・半年間で事故は8件、ヒヤリハットは0件			
事故報告 R5年 9月 5日 14時 40分頃			
【内容】避難訓練でヘルメット装着の際、左頬下の皮膚を固定ベルトのプラグで挟んでしまった。痛みがあったが、出血や傷等はなく、念の為メンタームを塗布して様子みた。本人様へ確認した所「大丈夫」と返答あり、本人様とご家族へ謝罪した。			
【対応】傷を確認し、メンターム塗布で様子みた。「大丈夫」と返答あり。送迎の際、ご家族へ謝罪した。			
【今後の対応】落ち着いて皮膚の状態を確認しながら固定ベルトを付けるよう注意していく。サイズが合わない場合はベルトの長さ調整を行う。			
事故報告 R5年 9月 27日 14時 45分頃			
【内容】防災訓練で駐車場へ移動の際、自力で歩行を頑張り過ぎた為、歩行状態が不安定となってしまった。			
【対応】ご家族へ状況報告し、謝罪した。その後帰宅時の歩行状態も注意しながら自宅内迄付き添い、給食弁当をテーブルへ置き退室した。			
【今後の対応】歩行状態を観察しながら声掛けを行い、必要に応じて積極的に車いすを活用していく。			
事故報告 R5年 10月 7日 11時 45分頃			
【内容】「外が見たい」と訴えがあり、ドアを開けた瞬間に外へ出てしまい玄関先の僅かな段差で躓き左膝をついた状態で転倒していた。			
【対応】怪我の状況確認し、ご家族へ報告・謝罪した。その後も観察し、送迎時にサ高住スタッフへ申し			

	送りを行った。 【今後の対応】1人で出ないように声掛けをし、外へ飛び出さないよう意識しながら対応する。
	事故報告 R5年 11月 25日 10時 50分頃 【内容】トイレ排泄時、トイレ内で「助けてくれー！」と声が聞こえ、確認すると、床に倒れた状態で発見する。 【対応】スタッフ二人がかりで一旦便座へ座らせ、その後ベッド上へ移乗。体温：36.6℃脈拍：76/回血圧：128/72mmHgSpO2：98%と問題なし。身体の確認では負傷や痛みはなかった。腰痛の訴えはあるが、元々の痛みである為、転倒によるものではなかった。 【今後の対応】ナースコールが押せなかった事が発覚した為、本人様へ排泄介助は付き添いで対応する事を理解して頂き、実施する。
	事故報告 R5年 12月 2日 16時 20分頃 【内容】送りの送迎時間前、玄関まで移動する際歩行器（セーフティーアームウォーカー）を片手で操作していた為玄関マットに歩行器が引っかかってしまい転倒事故となったが負傷なし。 【対応】自力では起き上がり不可能であった為介入し、車へ乗車出来たが臀部痛があった。直ぐにケアマネへ状況報告した。 【今後の対応】障害物がないか、正しく歩行器が操作出来ているか等歩行時の様子を確認し、声をかけながら付き添う。
	事故報告 R5年 12月 12日 12時 40分頃 【内容】昼食時、「あの人、私が食べていたのを食べているよ」と利用者から知らせを受け、同席していた利用者が食べ残しを盗食している所を発見する。気づいた時は既に少量口にしていた。 【対応】発覚したと同時に他の方の物を口にしないよう説明し、納得して頂く。その後、不穏になる事はなかった。 【今後の対応】食べ残しのお膳は直ぐに下膳する。糖尿病治療中である事や感染症リスクの可能性のある事等を理解して頂くよう声掛けする。
	事故報告 R5年 12月 12日 10時 15分頃 【内容】車いすからベッド移乗介助時、利用者の下肢が車いすとベッド柵間で挟まった状態となり痛みを与えてしまい悲鳴を上げていた。 【対応】直ぐにベッド上臥位にし、下肢の負傷がないか確認し、「大丈夫」との事で無傷であった。その後の動作に変化は見られず、痛みも消失していた。本人・家族へ謝罪した。 【今後の対応】周りの障害物やベッドと車いすの位置を確認し、下肢を保護しながら介入する。
	事故報告 R6年 2月 7日 9時 00分頃 【内容】来所時、右わき腹痛訴えあり、息するのもえらいとの事で、朝迎えの送迎状況を担当ドライバーへ確認した所、普段通り見守りで乗車介助を行っていたか、足が上かっておらず座席上へ前のめり状態となった際右脇腹を痛めた可能性があるとの事であった。傷や腫れ等の明らかな外傷はなかったが、激痛が持続していた。 【対応】ご家族やケアマネへ状況報告し、痛みが悪化しないよう運動系は控え暫く休養対応としていたが、動作もままならない為ご家族へ相談し整形受診となった。医療機関受診に至った為、市への告を行った。 【今後の対応】足元に注意しながら、一つ一つの行動に声掛けし、必要であれば軽介助を行う。

事故やヒヤリハットが発生した場合は、その都度情報共有し、対策を提案して実行できるように連携している。似たような事例に関しては、繰り返しのないよう勉強会や研修等を取り入れてスキルアップ向上に繋げていくよう努める。病状や異常がある場合にも、ご家族様・ケアマネ・事業所との情報交換や相談等を積極的に行う事で早期発見早期対応に努め、事故やヒヤリハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めていく。

3.活動報告

- 3月の介護フェア作品作り(折り紙壁飾り)
- 口腔機能向上サービスの実施(歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:8名
1/22コマキ歯科より、6カ月評価の結果で、舌の圧力や噛む力が低下しているので、舌の運動や噛む運動を強化するようコメントがあり
- 脱水予防対策として、ポカリスエット・麦茶の常備
- 空調管理として、エアコン・ストーブ・ひざ掛けや足置きクッションの活用
- 防災訓練の実施 (R5.9月:地震から火災を想定した訓練、R6.3月も同内容※地震が頻繁にあった為)
- 「子供110番の家」の指定 近隣住民や地域の子どもたち、父兄に挨拶運動や気軽に声掛け頂ける雰囲気作り(例えば…通りすがりの学生が手の洗淨やトイレを借りに来た)
- R5.9月2日に地域の敬老会へ出席し、デイサービス内容をアピール・口腔体操を実施

4.感染症対策

- お迎え時の体温測定(37.5℃以上の場合は来所を控えて頂く場合がある)
- ご利用者様は朝の検温が基本で、疑わしい症状がある場合は再検や必要に応じて新型コロナウイルス用の抗原検査を実施。陽性や高熱等の症状が明らかな場合は、直ちにご家族へ報告し受診を促し、ケアマネ報告
- 風邪症状で自宅療養が困難な場合は、他者との十分な間隔を取りながら休養対応とする(※高熱やウイルス感染の疑いがない方が対象)
- 職員の場合は、症状がある場合や陽性者と濃厚接触があった場合のみ検温と新型コロナウイルス用抗原検査を実施し、陽性の場合は5日間出勤停止
- 送迎車にマスク・体温計を常備
- 来所時の手洗い・うがい・消毒の徹底
- サービス時間中の職員・ご利用者様全員の飲食以外のマスク着用の徹底
- 入浴介助中の職員はマスク着用の徹底
- 窓の開閉調整・空気清浄機・エアドッグ・扇風機での常時換気
- 布団や枕の定期的な洗濯や消毒、枕カバーは毎回洗濯
- 利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り・マスク入れ他)や掃除
- 口腔ケア使用物品の消毒(消毒液つけ置き)
- 玄関・脱衣所のカーテンは、定期的な洗濯・消毒

○シェーバーの刃やヘアブラシは個別用で消毒

○必要時に応じて標準予防策を実施

5. 質疑応答

①災害について、避難場所はどこですか？地震の時は外に出るのですか？
よつ葉は直ぐ近くの東中学校になります。地震の際は、机の下に隠れて外の状況を確認後、移動出来そうなら避難場所へ移動する内容の訓練となっています。水害時は2階や屋上への避難となりますが、非常食は1階へ保管してあるので、今後は保管場所の再検討をしていきます。

②防災訓練について、地域と繋がった訓練をしてみたいか？また、小学校や中学校との繋がりを持つと良いと思いませんか？
これまでは、デイサービス内だけの訓練を実施していましたが、地域との合同訓練(9/30予定)は今後の為にも検討させて頂きたいと思えます。また、小学校や中学校主催行事参加や児童・生徒来所等で交流を密にする事を実施出来るよう努めて参ります。地域との交流では、前回の会議の後、R5年9月2日寿楽会主催の敬老会へ参加させて頂き、デイサービス「よつ葉」の内容と口腔体操実演を紹介しました。参加されていた方々は真剣にメモを取りながら聞いて下さり、色々と質問も飛び交う程貴重な時間を得る事ができました。また、参加者の内1名様が利用者様として繋がる事ができ、今後もこのような機会は必要だと感じました。

③地震や台風等の災害に備えて少量の備蓄品は置いてあるのですか？
災害に備えての備蓄品としては、10名分程度の水・乾麺・トイレトペーパー・手袋等を常備しています。期限切れにならないように定期的に更新しています。

④口腔機能向上サービス対象者8名はどういった基準で対象になったのでしょうか？
対象の基準として、噛みにくさ・磨き残し・口臭・ドライマウス等が主です。中には、ムセ込みがあり誤嚥性肺炎に至ってしまった方がおられ、食事は極刻みのトロミ付きかムース食を台し上かられており、再発なく経過しています。

6. 運営委員からの評価

(利用者)アルツハイマーと言われ、目の手術もしてもかすんで良く見えないし、足もしびれてお風呂も入れないから、ここ(デイサービス)へ来られるようになって、お風呂にも入れるし、スタッフも良い人達で良くしてもらっているのが助かっています。社長さんも笑わせてくれてね。目薬も1人じゃ上手く点せないの、ここですて下さるので良かったです。この間は、敷島公園へ梅の花を見に連れて行って貰ってね。山日新聞に載ってて、ここに直ぐ電話してね、良かったわ。

(利用者家族)特にないです。地震の時は外に出るんですね。

(地域の代表者)件数(事故)が多く驚いている。こんなに沢山の事故の今後に対してスタッフが一つ一つ対応しているのが凄いなあと思って。9/30の防災訓練に参加した方が良いと思いますよ。

(知見を有する者)2025年には政府も歯科検診の義務化を目指して動いています。それだけに口腔内の

衛生や機能は高齢者の日常生活への影響が大きいと思います。私たちケアマネも利用者さんの口腔状態を把握し、歯科受診の有無や口腔ケアの実施状況などを確認しながら、少しでも歯周病や感染症を防げるように尽力していきたいと思っております。利用者さんの中には口腔の不衛生に対する危機感が乏しい方が多いのも事実です。唾液を促す為のリンパ腺マッサージや舌運動はとても具体的で利用者さんへの意識も強まり効果的だと感じました。四季折々の行事やドライブ等は、普段中々外出が難しい利用者さんにとって、楽しめる貴重な時間だと思います。新型コロナウイルス感染症は5類となり、ボランティアによる演舞や外出も緩和されてきて良かったと思います。個人的には、いつかマスクが不要となり、レクリエーションの一環として外食なんかが出来る日がくればいいなあと思っております。

(地域包括支援センター)防災訓練は、地域との繋がりを持った訓練をした方が良いと思います。いざという時に色々な方達の力を借りる事ができるので。また、小学生や中学校学生との繋がりも持った方が、よつ葉の事を分かってもらい、こども110番でのメリットを活かせるのではと思います。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイサービスにする
- 『こども110番の家』として、小・中学校の生徒やそのご家族、学校関係者や地域の方との積極的な挨拶運動や声掛けを引き続き実施
- 地域活動参加を実施(行事・ボランティア・防災訓練等)

次回、運営推進会議は、令和6年8月の予定

